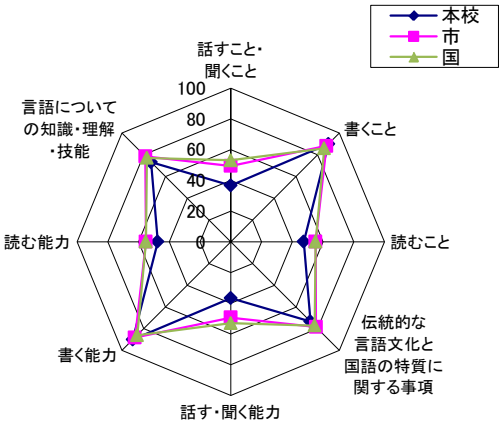


宇都宮市立西が岡小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

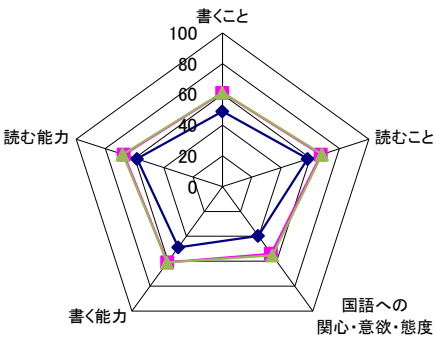
【国語A】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 36.7 | 49.3 | 53.0 |
|     | 書くこと                 | 90.0 | 88.2 | 86.0 |
|     | 読むこと                 | 47.5 | 55.2 | 55.2 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 73.3 | 78.5 | 77.2 |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         |      |      |      |
|     | 話す・聞く能力              | 36.7 | 49.3 | 53.0 |
|     | 書く能力                 | 90.0 | 88.2 | 86.0 |
|     | 読む能力                 | 47.5 | 55.2 | 55.2 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 73.3 | 78.5 | 77.2 |



【国語B】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            |      |      |      |
|     | 書くこと                 | 48.9 | 60.9 | 61.1 |
|     | 読むこと                 | 58.3 | 67.4 | 68.1 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |      |      |      |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         | 39.6 | 54.0 | 55.4 |
|     | 話す・聞く能力              |      |      |      |
|     | 書く能力                 | 48.9 | 60.9 | 61.1 |
|     | 読む能力                 | 58.3 | 67.4 | 68.1 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      |      |      |      |



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「国語の勉強は大切だ」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対して、県・全国の割合よりも高い結果となった。  
●「読書は好きか」「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしているか」「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしているか」については、県・国の平均よりも低い結果となった。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

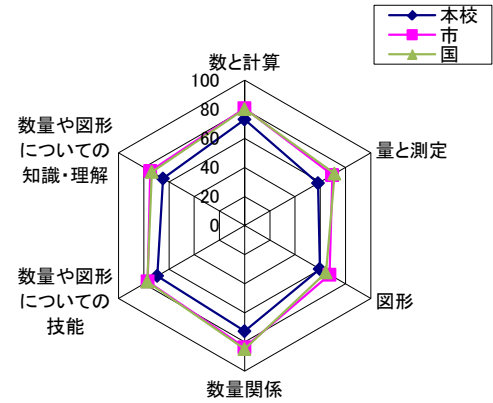
| 分類・区分                | 本年度の状況                                                                                                                             | 今後の指導の重点                                                                                 |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ●聞き方の説明として適切なものを選択する問題では、話の内容に対する聞き方を工夫することが不十分だった。                                                                                | ・話の内容をみんなで確認し、意識付けをしてから行うようにする。<br>・相手の話を聞く時や発言する時の観点を意識するよう指導する。                        |
| 書くこと                 | ○具体的な事例を挙げて説明する文章を書いたり、目的や意図に応じ、新聞の割り付けをして書いたりすることは県の平均を上回った。<br>●目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書いたり、文章と図とを関係付けて、自分の考えを書いたりすることは不十分だった。 | ・自分の考えを書くときの基本の型を提示し、書く順序や内容の関連について見通しをもって書くように指導する。<br>・日頃から自分の考えを整理してから文章にまとめるように指導する。 |
| 読むこと                 | ○登場人物の相互関係を捉えることは県の平均を上回った。<br>●新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えたり作品募集の案内の中から必要な情報を読み取ったり、登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することは不十分だった。                      | ・偏った読書傾向にならないよう、幅広い範囲の本に触れる機会を作る。<br>・調べ学習など国語以外の教科でも、必要な情報を読み取ることを繰り返し指導する。             |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことは、県の平均を上回った。<br>●文の中における主語を捉えることは不十分だった。                                                                 | ・新出漢字を学習する際に、その漢字を使って短文を作るなど活用ができるよう指導する。<br>・音読をする時に、文章の中で主語・述語・修飾語を押さえるように指導する。        |

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

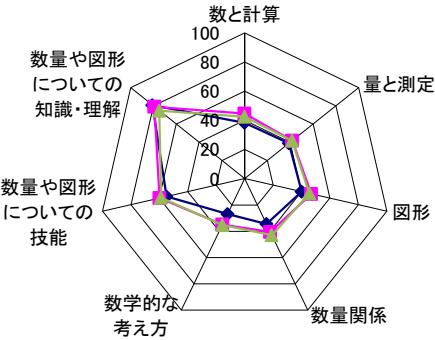
【算数A】

| 分類 | 区分              | 本年度  |      |      |
|----|-----------------|------|------|------|
|    |                 | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | 数と計算            | 72.9 | 80.7 | 80.1 |
|    | 量と測定            | 58.3 | 69.6 | 71.3 |
|    | 図形              | 59.6 | 67.4 | 64.5 |
|    | 数量関係            | 72.5 | 83.7 | 84.9 |
| 観点 | 算数への関心・意欲・態度    |      |      |      |
|    | 数学的な考え方         |      |      |      |
|    | 数量や図形についての技能    | 69.3 | 76.8 | 77.2 |
|    | 数量や図形についての知識・理解 | 64.8 | 74.8 | 73.6 |



【算数B】

| 分類 | 区分              | 本年度  |      |      |
|----|-----------------|------|------|------|
|    |                 | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | 数と計算            | 38.3 | 44.6 | 42.4 |
|    | 量と測定            | 38.9 | 41.8 | 41.7 |
|    | 図形              | 40.2 | 46.8 | 45.6 |
|    | 数量関係            | 34.4 | 40.6 | 43.0 |
| 観点 | 算数への関心・意欲・態度    |      |      |      |
|    | 数学的な考え方         | 26.9 | 34.9 | 35.3 |
|    | 数量や図形についての技能    | 55.0 | 59.8 | 58.7 |
|    | 数量や図形についての知識・理解 | 80.8 | 79.1 | 74.9 |



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの  
○算数の授業は勉強は「大好き」「大切」「よく分かる」「新しい問題を解いてみたい」「普段の生活で役に立つ」と感じている児童は全国の割合と同じであった。  
●算数の授業の内容が「解き方が分からない時は、諦めずにいろいろな方法考える」「もっと簡単に解く方法を考える」割合は全国より低い結果であった。

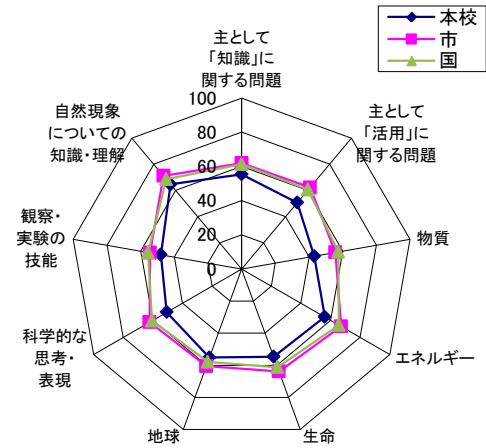
★指導の工夫と改善

| 分類・区分 | 本年度の状況                                                                                                    | 今後の指導の重点                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算  | ○小数や繰り上がりのある2位数の加法の計算は正答率が高く、良くできていた。<br>●末尾の位のそろっていない小数の減法や異分母の分数の減法の計算をすることが不十分だった。                     | ・小数の計算については、小数点の位置を確認しながら計算していくように指導する。<br>・異分母の分数の問題では、分母を通分して加法・減法の練習問題を指導する。 |
| 量と測定  | ○日常生活の中で必要となる時刻を求める問題はイメージがつかみやすく、良くできていた。<br>●180°より大きい角の大きさを求める問題は正答率が低い。見当を付けて角の大きさを求めることの定着は十分とは言えない。 | ・90°、180°、270°、360°を基に、見当を付けて角度を求められるように指導する。                                   |
| 図形    | ○円や平行四辺形の性質をよく理解して、問題を解くことができた。<br>●直方図形の見取図と展開図を関連付けて辺や面の位置関係を考える問題は不十分だった。                              | ・図形の性質を押さえ、面積を求める公式を提示して、知識・理解の定着を図る。<br>・立方体や直方体の展開図や見取り図を利用した練習問題を指導する。       |
| 数量関係  | ○グラフに表されている事柄を読み取る問題は正答率が高かった。                                                                            | ・他教科においても、棒グラフ、円グラフ等から読み取れることを確認しながら、指導していく機会を多くする。                             |

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

| 分類  | 区分             | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 国    |
| 枠組み | 主として「知識」に関する問題 | 55.4 | 61.9 | 61.3 |
|     | 主として「活用」に関する問題 | 50.6 | 62.2 | 60.5 |
| 区分等 | 物質             | 43.1 | 55.7 | 57.4 |
|     | エネルギー          | 56.1 | 67.2 | 65.6 |
|     | 生命             | 54.7 | 63.8 | 61.2 |
|     | 地球             | 55.2 | 60.5 | 57.8 |
| 観点  | 自然現象への関心・意欲・態度 |      |      |      |
|     | 科学的な思考・表現      | 50.6 | 62.2 | 60.5 |
|     | 観察・実験の技能       | 48.0 | 54.4 | 55.5 |
|     | 自然現象についての知識・理解 | 64.6 | 71.1 | 68.6 |



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○理科の授業は勉強は「」「大切」「観察や実験が好き」「将来、社会に出た時に役に立つ」と感じている児童は、県や全国の割合よりも高い結果となった。  
●理科の授業の内容が「普段の生活の中で活用できないか考えているか」「将来、理科や化学技術に関する職業につきたいか」については、県や全国の平均より低い結果となり、調査問題回答時間についてA、Bともに解答時間は「十分であった」と回答した児童は県、全国より低い結果となった。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況                                                                                                                         | 今後の指導の改善                                                                                     |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物質    | ○振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだ理由を書いたり、メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を理解したりしている問題は県の平均に近かった。<br>●水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶことが不十分だった。 | ・メスシリンダーの適切な取り扱いについて、児童一人一人ができるように指導していく。<br>・生活の中で起こりうる事象を予測させ、実際の実験結果と比べさせながら指導していく。       |
| エネルギー | ○振り子時計の調整の仕方を調べたり、電磁石の働きを利用した振り子について、実験をした結果を基に自分の考えを回答する問題は県の平均に近かった。<br>●電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶことが不十分だった。             | ・実験に取り組む中で予想させ、実際に行う実験結果と比べさせながら指導にあたる。<br>・実験結果を基に、自分の考えを確認させたり深めたりできるように授業を展開していく。         |
| 生命    | ○顕微鏡の名称を書いて、適切な操作方法を選ぶ問題は、県の平均に近かった。<br>●生物の成長に必要な養分の取り方について、調べた結果を分析することが不十分だった。                                              | ・顕微鏡を実際に操作させる機会を増やし、名称や操作方法を理解させていく。<br>・実際に生物を育て成長の過程をノートにまとめさせながら成長や養分について指導していく。          |
| 地球    | ○方位についての情報から、観察している方位を選んだり、星座の動きを捉えるための適切な記録方法について理解したりすることについて、県の平均を上回った。<br>●夕方に見られる月の形と場所を選ぶ問題では、不十分だった。                    | ・日頃より星座や月等に関する自然事象についての関心を高め、日常の体験と結び付けて知識・理解の定着を図る。<br>・DVDやNHKの映像による授業を展開し、実感を伴うように指導していく。 |

## 宇都宮市立西が岡小学校第6学年児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「国語や算数・理科の勉強が大切だと思いますか。」「総合的な学習の時間の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。」という質問に対して、肯定的に回答する児童は県や全国平均を大きく上回っている。学習の必要性を十分感じているので、学習する環境づくりを支援していきたい。

●宿題をする児童の割合は比較的高いが、授業の予習・復習に関する質問項目は、県や全国平均を下回っている。また、普段の日に、テレビゲーム・テレビゲーム・携帯電話の視聴の時間は、県や全国平均を上回っている。保護者は授業参観や運動会等の学校行事には積極的に参観し協力して下さるので、親子学習などでゲームや携帯電話についての危険性やマナーなどについて取り上げて理解を深めていきたい。保護者に協力をお願いし、家庭学習の定着を図りたい。